

ひょうたんいけ

桜台小 学校だより
令和3年10月7日
第26号



10月に入り、日ごとに秋の深まりを感じるようになってきました。子どもたちは授業での「秋見つけ」として、あみを持ってトノサマバッタやコオロギを捕まえたり、キンモクセイをスケッチしたり、どんぐりを拾って観察したり、それぞれの秋を見つけては楽しんでいるようです。「校長先生、こんな花が咲いていたよ」「木の下にどんぐりが落ちていたよ」と見せてくれる子もいます。子どもたちの感受性豊かな心が、このまままっすぐと育ってくれることを願っています。

※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



人権に関する教職員研修会を持ちました。

9月29日(水)の放課後、「学校づくりを人権尊重の視点で」というテーマで、人権に関する教職員研修会を行いました。三重県の指導内容の特徴(2013年度人権問題に関する教職員人権意識調査より)として、『子どもたちは他者の痛みにも共感し、なかまを支えなければという思いはあるが、それを具体的に言葉にして伝えることができない可能性がある』という分析がなされています。また、「想像力や感受性」「諸概念の知識」「コミュニケーション技能」については、国の平均と比較しても三重県の子どもたちの力が不足していると報告されています。

自尊感情(欠点や短所を含めて、ありのままの自分を肯定的に認め、自分を好きになり「自分はかけがえのない大切な存在だ」と思える気持ちのこと)は人と人との関わりの中で育まれます。自尊感情の高い子どもは、自分だけでなく、周りの人も大切にできます。ある講演者の方は「人は人との関わりの中でこそ成長する」と話されていました。自分のしんどいことは一番人に言いたくないことです。でも本当は一番人に知っていてほしいことであったりもします。人間関係の第一歩は「出会い」からで、「出会い」の最初はあいさつから始まります。私自身なかなかできていませんが、心を磨く、感性を磨く自分でありたいと日々感じています。



ある年の三重県人権メッセージには、次のような詩が書かれていました。少し一部を紹介します。

『かぜ』	つよいかぜや	よわいかぜがあるけれど
	いつもつよいかぜにふかれるから	やさしいかぜにふかれてみたい

この詩を読んでハッとさせられました。この詩を書いた子どもは、強い風ではいやだ。かといって弱い風でも困る。私はやさしい風に吹かれていたい、と訴えかけています。子どもの心と体をやさしい風として包んできているのだろうか。自分を振り返り、本当に考えさせられる詩でした。

6年生のみ、修学旅行翌日(15日金)の日課を変更します。

修学旅行翌日の子どもたちの疲れ具合等を考慮し、6年生のみ、15日(金)の日課を次のように変更します。突然の変更でご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご了承をよろしくお願いいたします。

【6年生】15日(金) 6限日課 → 5限日課 14:35終了 下校開始 とします。

学校給食費に係るお知らせとお願い(1~5年生対象)

5日(火)、学校すぐメールでもお知らせしましたが、令和4年4月から、四日市市立小学校の学校給食費について、支払先が学校から四日市市に変更されます。先日、その手続きに関する封筒「学校給食費についての大切なお知らせ」を、お子様を通じて配付しましたので、よくお読みいただき、期日までに手続きを済ませていただきますよう、ご協力をお願いします。

<提出書類> (1) 学校給食申込書 提出先：学校 ×切日：令和3年10月20日(水)

(2) 口座振替依頼書 提出先：金融機関 ×切日：令和3年11月30日(火)

※学校給食費についての内容は、四日市市広報8月号でお知らせされています。(文責 北住 昌文)